

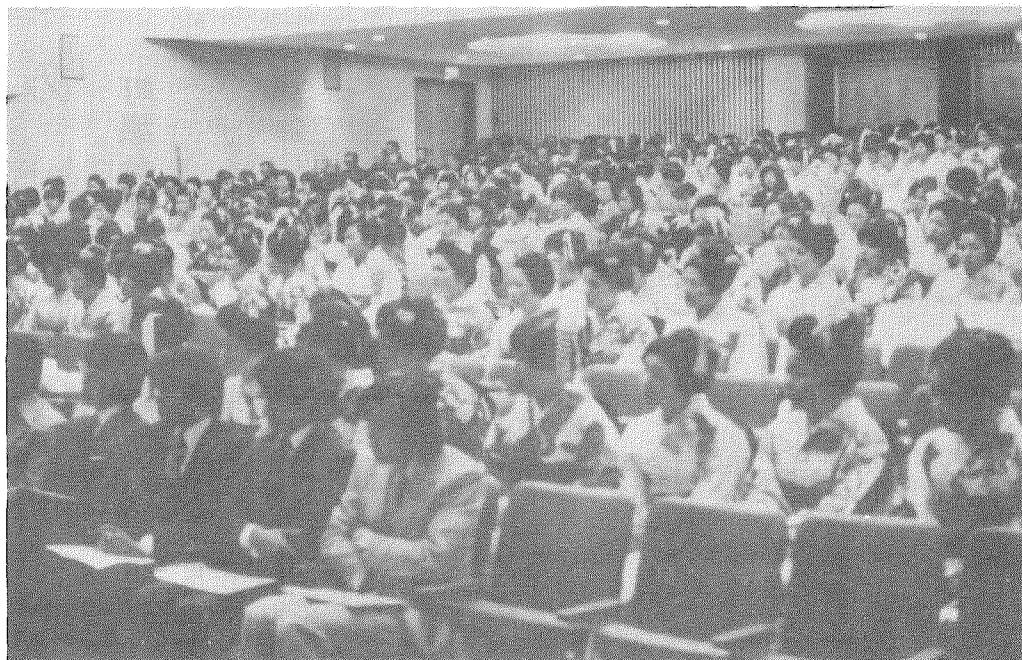
今 広報あいら

発行所 鹿児島県姶良郡姶良町役場
発行人 岩根清春 編集人 伊集院博隆

(印刷所)
キング堂

| 町の人口動態 | |
|------------|---------------|
| (12月31日現在) | |
| 世帯数 | 8,199戸 (+5) |
| 人口 | 25,778人 (+66) |
| 男 | 12,084人 (+23) |
| 女 | 13,694人 (+43) |
| 出生 | 28人 |
| 死亡 | 31人 |
| 転入 | 224人 |
| 転出 | 157人 |

12月の



(町公民館大ホールを埋めた新成人)



(ロビーでの受付風景)

自己啓発に努め

豊かな社会性を身につけよう

「昭和五十年度成人式」

一月五日、町公民館で新成人を祝い、励ます成人式が開催されました。今年、大人の仲間入りをしたのは六百四十七人（男子三百二十人、女子三百二十三人）。美しく着飾ったお嬢さん方で町公民館

ロビーは華やかな雰囲気に包まれていました。

式は、水流町長はじめ、後藤議長、入部教育委員長の祝辞によると、小野実さん、浜田悦子さんの四人が成人を迎えるにあたっての決意を述べたあと、祝賀レクリエーションに移りました。ここでは、鬼塚すき子先生による琴演奏の他公民大学、社会教育学級生による民踊、ギター演奏などが行なわれ、式を盛りあげていました。

つづいて、成人章の贈呈、記念樹の授与が行なわれ、これにこたえて春花部落の岩神洋子さんが「これからは、社会人としての責任を

はつきりと自覚して行動し、名実ともに一人前の社会人となるよう努めます」と力強く宣誓しました。

このあと「成人の主張」と題して、春山清高さん、大山浩子さん

| 町の人口動態 | |
|------------|---------------|
| (12月31日現在) | |
| 世帯数 | 8,199戸 (+5) |
| 人口 | 25,778人 (+66) |
| 男 | 12,084人 (+23) |
| 女 | 13,694人 (+43) |
| 出生 | 28人 |
| 死亡 | 31人 |
| 転入 | 224人 |
| 転出 | 157人 |

新年のごあいさつ



町議会議長 後藤景雄

昭和四十九年度は町民待望の始
期待にこたえる決意を新たにする
ものであります。
町政にあたる町議会はその責任の
大なる痛感し、町民皆さまのご
うした経済不安がつづく中で
現実であります。

なされましたことは喜びに堪えません。特に姶良町公民館 老人福祉センターは姶良町民が県下に誇る立派な建物であります。これらの施設がその目的のために十分に生かされ、利用されましてそれをこの成果をおきめられますよう願つてやみません。

良町公民館並びに老人福祉センターが完成し又、学校関係では重富中学校の校舎、帖佐小、北山小のブール、建昌幼稚園の遊戯室等が次々と建設され教育施設の整備がなされましたことは喜びに堪えません。特に始良町公民館、老人福祉センターは始良町民が県下に誇る立派な建物であります。これら

始良町も新年の一月一日をもつて、合併誕生して以来満二十年を経過し成人となつた意義ある年であります。

不況のもとに町内外の情勢はきびしいものがありますが、議会もこの試練を克服して始良町が更に発展しますよう最善の努力をつづけてまいる決意であります。

重度心身障害者の医療費を助成

職員の給与改定など可決

昭和四十九年度第四回町議会定例会は、十二月二十日から二十六日まで、七日間の会期で開かれ、重度心身障害者医療費助成の件など議案二十三件が原案どおり可決され、また、思川橋歩道橋設置などの陳情十一件が採択されました。

可決された議案の主なものは次のとおりです。

の自己負担分を町が助成するとい
うものです。

高額療養費として助成するという
ものです。

これは、重度心身障害者が医者などにかかる場合、その医療費

被保険者が医者にかかる場合
その医療費の自己負担分が三万円
を超えるときは、その超えた分を

これは人事院勧告に基いて
行なわれたものです。

| | | () 内は旧額 |
|---------|--------|----------|
| 町 長 | 35万円 | (26万円) |
| 助 役 | 26万円 | (19万5千円) |
| 収 入 役 | 24万2千円 | (18万円) |
| 教 育 長 | 24万2千円 | (18万円) |
| 議 会 議 長 | 11万5千円 | (8万5千円) |
| 議会副議長 | 9万1千円 | (6万7千円) |
| 常任委員長 | 8万円 | (5万8千円) |
| 議 会 議 員 | 7万3千円 | (5万4千円) |

◆一般会計補正予算（第

一般会計においては、歳入歳出

それぞれ一億五千七百万円余り追加され、予算総額は十七億七千四百万円となりました。補正された主なものは、給与改定に伴う人件費が九千万円余り、県営ほ場整備事業推進費が二千六百万円余り、漁港災害復旧費（重富漁港二件）が二千万円余りなどです。

◆特別會計

国民健康保険特別会計事業暫定
補正予算（第二号）、同じく施設
勘定補正予算（第一号）、水道会
計補正予算（第二号）がそれぞれ
議決されました。

就任のご挨拶

始良町長 岩根清春



出勤に勇気百倍し、公約いたしましたとおり、清く豊かな福祉の町づくりに挺身し、弱者対策、開発など山積した問題に積極的に取り組んでいく所存です。

一月二十三日、前の水流町長から事務を引き継ぎ、即日、執務態勢に入りました。始良町政はいま一時の逡巡も停滞も許されないとさきであると考えるからです。

(1)お年寄りの方々や、心身障害者母子世帯の方々など如何お暮らしかと心配もあります。

(2)都市計画も話し合いが必要です国道十号線バイパスの問題もそうです。

(3)五十年度当初予算の編成期でもあります。

福祉の問題は、社会に生きていくための基本的権利としての生活衛生行政は、難病対策もたてますが、健康あつてこそ的人生です

太陽の子運動、栄養改善など、

予防に「かね」を使うべきでしょ

う。

各種団体育成にも心をくだきま

す。

これらはすべて町民の方々の幸

せにつながるものでなければなり

ません。

工場誘致は町長自ら問題解決に

あたります。一吉野台地のゴルフ

場建設は重富地区にどのような影

響を与えるのか慎重に対処します

（一）内は旧任

○は昇格者

★課長級

▽始良郡西部消防組合出向（住

民課長）坂元満男（住民課長）

教育委員会）西郷隆宣

★係長級

教育委員会出向（経済課商工水

産係長）篠田克己（経済課商工

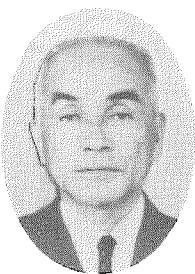
水産係長（経済課経済係長）木

原行雄（経済課経済係長）（経

課経済係）新園勤

退任のご挨拶

水流清高



任のご挨拶を申し上げるにあたりまして、責任の重大さに胸しめつけられる思いでござります。しかし、暖かく迎えられての初

始良町が合併以来、町長の池田さん、水流さんとお二方が町政発展の大きな業績を残されました。

県下の雄町としての基礎をつく

（1）お年寄りの方々や、心身障害者母子世帯の方々など如何お暮らしかと心配もあります。

（2）都市計画も話し合いが必要です国道十号線バイパスの問題もそうです。

（3）五十年度当初予算の編成期でもあります。

福祉の問題は、社会に生きていく

ための基本的権利としての生活衛生行政は、難病対策もたてま

すが、健康あつてこそ的人生です

太陽の子運動、栄養改善など、

予防に「かね」を使うべきでしょ

う。

各種団体育成にも心をくだきま

す。

これらはすべて町民の方々の幸

せにつながるものでなければなり

ません。

福の増進のために全力を尽した

協力をおこなったことはした」とい

うことができまして、誠に幸わせ

と思っております。心から感謝し

厚くお礼を申し上げます。

（為すべきは為した。後に悔い

なし）の心境で職を去ることが男

児の本懐と申します。しかし、「為

すべきこと」が沢山残つておる気

がいたします。それらは、新町長

にお願いすることといたします。

新年おめでとうございます。

（一月二十二日、始良町長として

の任期満了の機会に引退させてい

ただくことといたしました。漢学

菲才、不束者でございますが、町

ただ「町の発展のために、町民

せいぜいお仕事お疲れさまで

ございます。

おわりに、愛するふるさと始良

ましたが、他町村に比較して決し

て高くないそうです。もう少し実

態をPRする必要を痛感している

ところです。など、など……

かねて予想し、対策もたててい

たところですが、就任一日でいろ

いろ学びました。町長室で皆さん

の意見を聞くことを楽しみにして

います。

二十三日の就任式で、役場の窓

口事務についてサービスに徹する

よう指示しました。

（一）まずびー

林務は、竹林造成と林道造成が

問題のようです。農政は、ほ場整

備でしよう。イノシシ対策も努力

します。土木は、町道や危険個所

を見せてまわります。

（二）商工行政は、商工会との協力の

もとに楽しいショッピング街の建

設に努めます。

（三）衛生行政は、難病対策もたてま

すが、健康あつてこそ的人生です

太陽の子運動、栄養改善など、

予防に「かね」を使うべきでしょ

う。

（四）各種団体育成にも心をくだきま

す。

（五）これらはすべて町民の方々の幸

せにつながるものでなければなり

ません。

（六）工場誘致は町長自ら問題解決に

できるだけのことはした」とい

う心境で引退できることをせめて

もの感めといたしております。

（七）引退後は、自由な一市民として

暮らしたいと思います。相変わら

ぬご好誼とご指導とを賜ります

よう願い上げます。

（八）皆さん、水道料金は、ペラボウ

に高いとの批判を選挙中お聞きし

ましたが、他町村に比較して決し

て高くないそうです。もう少し実

態をPRする必要を痛感している

ところです。など、など……

かねて予想し、対策もたててい

たところですが、就任一日でいろ

いろ学びました。町長室で皆さん

の意見を聞くことを楽しみにして

います。

（九）始良郡西部消防組合出向（住

民課長）坂元満男（住民課長）

教育委員会）西郷隆宣

（十）（一一）内は旧任

○は昇格者

★課長級

▽始良郡西部消防組合出向（住

民課長）坂元満男（住民課長）

教育委員会）西郷隆宣

（一二）内は旧任

○は昇格者

★係長級

教育委員会出向（経済課商工水

産係長）篠田克己（経済課商工

水産係長（経済課経済係長）木

原行雄（経済課経済係長）（絏

課経済係）新園勤

第1回町社会教育大会

新しいコミニユーティー作りを

(地域社会の協力と連帯をめざして)

一月十一日、町公民館において町で初めての社会教育大会が開催されました。

これは、町民ひとりひとりの個性、能力の向上による対応が要求されている今日のめまぐるしい世相の中で、社会教育に関係する各

団体、関係者が一堂に集い、相互に連携して今後の社会教育の進むべき方向を見つけだしているとして行なわれたものです。

大会は、東教育長のあいさつにつづいて水流町長が「これからも地道な活動をつづけていくください」と激励したあと表彰式に移り、地域づくりに尽力されている次の方が表彰されました。

◇社会教育関係（敬称略）

（育成指導関係）
宮内ミネ 玉利貞道 遠瀬川三男
(婦人会関係)

山路澄 上園正香 城光寺トキヤ
奥屋ツユ子 清藤カヨ 尾田ミカ
(PTA関係)



(事例発表に聞き入る聴衆)

郷田良夫 重富小学校PTA
(子ども会関係)
小倉種夫 畠野子ども会 星ヶ山
子ども会
(公民館関係)
松原上公民館

◇社会体育関係
(スポーツ少年団)
(スポート少年団)

瀬戸山和夫 建昌サッカースポーツ少年団
(社会体育関係)
長崎幸男 小川内益男 北山校区
このあと行なわれた事例発表で

は、豊田市部落の北方繁さんが一子ども会育成についてこれまでの成績を一建昌家庭教育学級生の谷口民さんが一学級・教室に対する母親の情熱を一帖佐駅前青年会の井上博志さんは一個々のグループ活動を高めていくことで町づくりに寄与していくべきという意欲を一北山校区体育振興会の小川内益男さんが一見るスポーツからするスポーツへ、そして幼児から老人まで全員が参加できる社会体育の在り方を一松原公民館の石川栄進さんは一公民館活動について、転入者と在来者の融和の問題について、师范大学と在来者の融和の問題について、生涯教育（生涯学習）の重要性を今日の社会問題（断絶・家庭の再建・幼児教育・老人問題など）にからませて、さまざまな視点から説明がなされ、参加者は熱心に耳を傾いていました。

最後に「町民憲章」につとり、この大会で得た地域づくり、町づくりに力を合わせてまい進する旨の大会宣言が行なわれ、初の社会教育大会を終了しました。

すくすく育て太陽の子

健康優良児の表彰式

次代を担う赤ちゃんを、みんなの力で強く、明るく、元気に、生み育てていこうとする太陽の子運動！

太陽の子運動推進協議会主催による乳児健康診査で入選された赤ちゃんの表彰式が十二月二十六日町公民館で行なわれ、まるまるす



(49年秋季優良児)

◇四十九年春期分
乳児 保護者 部落
日置 拓郎 (節武) 水流寺
池田 誠 (貞秋) 寺師
中島 秀三 (則秋) 岩崎
深江 章太郎 (幸雄) 駅前
豊 聰美 (良博) 俵原団地西

◇四十九年秋期分

乳児 保護者 部落
日置 拓郎 (節武) 水流寺
池田 誠 (貞秋) 寺師
中島 秀三 (則秋) 岩崎
深江 章太郎 (幸雄) 駅前
豊 聰美 (良博) 俵原団地西
梅田 健一郎 (栄二) 白金原
岩下 雄一 (英也) 白金原
橋口 洋一 (岩人) 山野
村田 秀樹 (哲哉) 坂下
渕脇 秀樹 (秀孝) 上場
橋口 洋一 (岩人) 山野
村田 秀樹 (哲哉) 坂下
岩下 雄一 (英也) 白金原
梅田 健一郎 (栄二) 白金原
富永 正一 (泰男) 山ノ口
長友 隆博 (利春) 森
重田 裕子 (次彦) 水流寺
伊地知 英文 (淳二) 寺師
行船 祐子 (純忠) 倭原県営
坂元 隆明 (進) 星原
有馬 誠志 (克己) 重富団地

くすく育った次の赤ちゃんが優良児として表彰されました。

◇四十八年秋期分



(48年秋季優良児)

乳児 保護者 部落
日置 拓郎 (節武) 水流寺
池田 誠 (貞秋) 寺師
中島 秀三 (則秋) 岩崎
深江 章太郎 (幸雄) 駅前
豊 聰美 (良博) 俵原団地西
梅田 健一郎 (栄二) 白金原
岩下 雄一 (英也) 白金原
橋口 洋一 (岩人) 山野
村田 秀樹 (哲哉) 坂下
渕脇 秀樹 (秀孝) 上場
橋口 洋一 (岩人) 山野
村田 秀樹 (哲哉) 坂下
岩下 雄一 (英也) 白金原
梅田 健一郎 (栄二) 白金原
富永 正一 (泰男) 山ノ口
長友 隆博 (利春) 森
重田 裕子 (次彦) 水流寺
伊地知 英文 (淳二) 寺師
行船 祐子 (純忠) 倭原県営
坂元 隆明 (進) 星原
有馬 誠志 (克己) 重富団地



(坂元満男氏)

このたび、始良郡西部消防組合
十四歳)が就任されました。
坂元満男氏は就任にあたり次の

坂元氏 住民課長が就任

元町役場

ような抱負を述べられました。

一、組合消防を管内住民に理解、
認識させ、住民になじみの深い
消防づくりに努力したい。

二、消防職員五十八名の親睦融和
をはかり温かい人間関係をつくりたい。

三、予防思想を啓発して災害を未
然に防止したい。

四、消防団との協力を一段と強め
たい。

火災ゼロの年にしたい 勇壮活発に消防出初式

新春恒例の消防出初式は、一月九日午前十時から町公民館前広場で行なわれ、分列行進ボンブ操法、放水演習などの消防動作が勇壮活発に演じられたあと、消防協力者や優良団員の表彰が行なわれました。

当日の表彰者は
次のとおりです。
(敬称略)

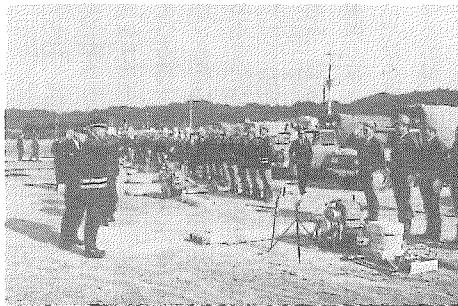
△日本消防協会総裁表彰
精績章 永吉正則(消防団長)

△県消防協会総裁表彰
功績章 三月田末晴(三叉)川崎美義(下名)北村弘(平松)川畑勝男(米山)

△永年勤続表彰(二十五年以上)
萩原鉄雄 春山兼一(以上平松)

△優良団員表彰(五年以上)
内村秀雄(三叉)藤山静夫(建昌)下富路文男(上名)内村文雄(同)

△退団者表彰



(通常点検)



(永年勤続表彰)



(完成した建昌幼稚園遊戯室)

遊戲室が完成

—建昌幼稚園—

十一月二十一日、建昌幼稚園遊戯室の落成式が行なわれました。

○面積 一九一、四平方メートル
○建設費 一千五百五十一万六千円

○工期 昭和四十九年八月十三日から十二月十九日
体育館並みの特殊工法で仕上げられた立派な遊戯室です。また、旧遊戯室は保育室、保健室、相談室に改造されました。

式について行なわれた園児の発表会では、そのかわいらしいしぐさに、お父さん、お母さん、それに来賓の皆さんのが盛んな拍手が送られていました。

△県消防協会始良伊佐支部長表彰
八代正(米山)小倉久雄(平松)
一大重幸男(上名)内村文雄(同)
内村秀雄(三叉)藤山静夫(建昌)下富路文男(上名)内村文雄(同)

△優良団員表彰(五年以上)
佐藤正義(本部)清藤良徳(船津)黒木清正 佐藤光夫 村尾忠憲(以上松原)宇都兒己(北山)

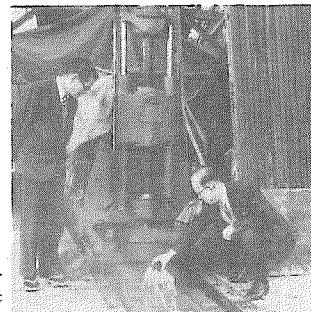
△消防協力者表彰
赤堀公光 佐伯和彦 野村清春
黒木美千男(新町)

町老人福祉センター3題



六十度の温泉が

湧き出す



町老人福祉センター
に温泉が湧き出しまし

た。お年寄りの憩いの
施設に温泉がぜひとも
必要だということで、
センター建設に並行し
てはじめられた温泉ボ
ーリング、それから一
年目、深さ七百一メー
トルにしてやつとめぐ
りあえた温泉に、掘削
に当った町開発公社は

もちろん首をなぐくして待つてい
たお年寄りなど関係者の喜びはひ
としおのものがあります。

温泉の温度は地表で六十度、湯

量は一日三百トン、石けんも十
分泡立つとのことで、泉質などの
詳しい調査は県の鉱害衛生研究所
に依頼してあるとのことです。

町開発公社では、一月二十四日

二十五日頃までには、他の地域の

温泉施設など見学してまわり、な

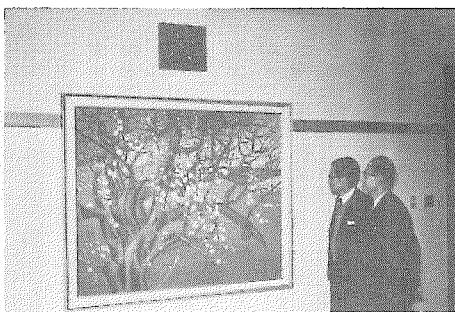
んとか、早く、理想的な施設をつ
くりたいと大はりきり。また、セ
ンターで使っても十分余る程の湯
量なので、その効果的利用も考え
ていきたいということでした。

センターに日本画を寄贈

町内出身の堅田ツルエさんから
女流画家堅田ツルエさんから

十二月十九日、老人福祉センタ
ーに、町内出身で現在兵庫県の淡
路島に住む女流日本画家の堅田ツ
ルエさん（六十歳）から百点の絵
が贈られました。

この絵は、同センターの開館を
聞いた堅田さんが、故郷の老人た
ちのためにと、三ヶ月余りかかっ
て描き上げたもので、十月に催さ
れた大阪市立美術館の日本画・春
秋会展で努力賞に入賞したもので
す。堅田さんのおじさんにある
町内平松に在住の大平政光さん（
六十八歳）の立ち合いの下に、こ
の絵は二階のロビー壁面に飾られ
老人たちの目を楽しませています。



始良町老人福祉セン
ターは、老人憩いの場
として昨年七月に開館
して以来、多くのお年
寄りに利用されて大変
好評をはくしています
センターの広場は、
ゲートボールの遊技も

桜の花見は福祉センターで
伊東キクエさんが苗木を寄贈
始良町老人福祉セン
ターは、老人憩いの場
として昨年七月に開館
して以来、多くのお年
寄りに利用されて大変
好評をはくしています
センターの広場は、
ゲートボールの遊技も

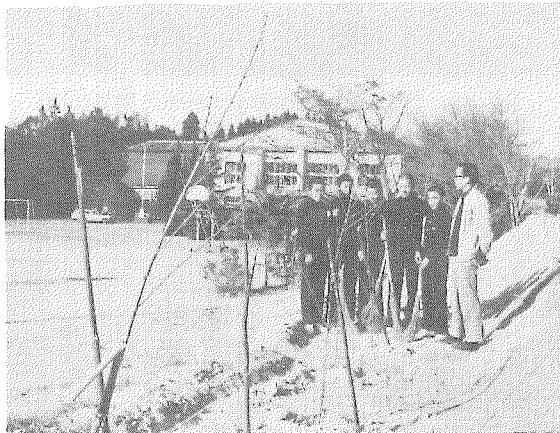
桜の花見は福祉センターで
伊東キクエさんが苗木を寄贈

できますし、桜島を目のあたりに
見る眺めは絶好で申し分のない場
所です。が今ひとつ春の花見がで
きるようになつたら、なおよから
うと古の方の声があつたとかで、
今回、東原にお住いの伊東キクエ
さんが、二十万円相当の桜の苗木
を寄贈されました。

この桜は、春先になれば早くも
チラホラ花を咲かせるほどの樹で、
湧き出た温泉の整備と相まって、
センターも一層充実されることに
なるでしょう。利用者で、吾が家
へのお帰りを忘れる方もやす
いかと係員が心配顔。

北山中へ桜の苗木を寄贈

三和工業KKが工事完了 を記念して



昨年、十一月十八日、北山中学
校に吉野桜の優良苗木三十三本が
贈られました。これは、北山石
ヶ迫水源池並びに北山小学校ブー
ルの給水工事完了の記念として、
工事を請け負った三和工業株式会
社（鹿児島市南林寺町、前田好文
社長）から贈られたものです。

贈られた苗木は、この日、役場
水道課員の立ち会いのもとに、北
山中校庭南西部に植えられました
が、前田社長自らもハッピ姿にな
つて記念植樹されるなど、すべて
会社側の好意でなされました。

くらしの知恵

魔法びんの湯に
浮ぶキラキラ
魔法びんの湯の中にガラス破片のようじき
ラキラ光るもののがたくさんあつて異様に感じ
たことはありませんか。

この光るものは「レークス」と呼ばれ、魔法
びん内部のガラス壁にできたケイ酸マグネシ
ウムの薄い膜で、これがはく離して細かい粒
子となり水中に浮遊してキラキラ光つて見え
るもので。水質がアルカリ性で、マグネシ

魔法びんの湯に

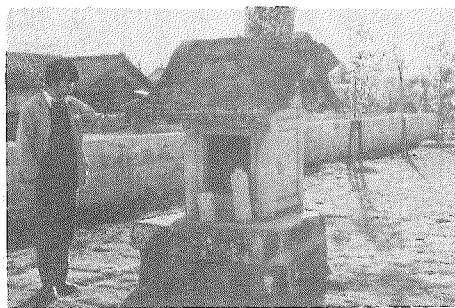
浮ぶキラキラ

ウムやカルシウムを多く含んでおり、また、
ガラスのケイ酸分が遊離し易く、お湯の温度
が七十五度以上などの条件が重なるとでき易
いといわれています。毒性はないので心配す
ることはあります。毒ではないので心配す
るので、次のように処理して防止してください
魔法びんに九分目ぐらい水を入れ、この中
に水の量に対しても約一割の食酢を加え、二時
間ぐらいそのままにして、このあと柔かなブラ
シできれいに洗い、十分すいでおけば良い
ようです。

鹿児島消費生活センター
「くらしの科学」より

永年、納屋町に安置されていた
「恵比寿」さんが、この程、町公
民館前庭に移されました。
納屋公民館長の芥園末廣さんは、県道（川内→加治木線）の拡

納屋町の
「恵比寿」さん
町公民館前庭へひっこし



(公民館前の「恵比寿」さん)

幅改良工事のため移転を余儀なく
されている「恵比寿」さんの移転
先を種々と検討していましたが、
文化財保護の見地から、この際、
町に無償で提供しようということ
になり町と協議の結果、町公民館
になり町と協議の結果、町公民館

前に安置されることになったもの
です。
この「恵比寿」さんは、商売の
神様で百五十年ほど前に作られた
もので、納屋町商店街の人々の御
本尊として永年祭られてきたとい
うことです。

歳末たすけあい

運動の成果

昭和四十九年の歳末たすけあい
募金と一般共同募金の実績は次の
とおりです。
△一般共同募金総額
百二十万三千七百九十四円
この募金は、全額、県共同募金
へ納付し、主に県内の保育園や各

○各家庭からの募金額
五十五万五千三百円
○各所に備えた募金箱
五千九百八十一円
○重富中学校生徒会
二万七千三百十円
○役場職員
八千五百円
○始良自動車整備協業組合
二千八百四十九円
○南シマ（あゆみの箱）殿
一千円
○伊東ギク工殿
餅米四斗、タオル百六十五枚
袖なし六十六着
○米盛フジエ殿
餅米一斗
○尾崎タツミ殿
餅米一斗、野菜
○長野ギク殿
餅米一斗

◇歳末たすけあい募金総額
五十七万四千百十五円
内訳は

○町内の福祉施設
幸風園（北山）八十人
若葉学園（鍋倉）七十人
○在宅高齢者（八十五歳以上）
百二十人
○在宅全盲者
五十八人
○在宅全盲者
百六人
○合計
六百十九人

この欄は
町民の皆さん
自由に使える場です

今回から、町民の皆さん情報
交換の場を設けることにしました
例えは：「犬が逃げた。捜して
…」「ウチでは不用になつたので
ゆずります」：「こんなものが欲
しい。ゆずつて」：などみんなに
呼びかけて協力を願いしたいこ
とをお使いください。なお當利を
目的としたものは除きます。良識
をもつて利用していただき、他の
ひとに迷惑を及ぼすことのないよ
うにお願いします。

掲載依頼は、要件を七十字程度に
まとめて、ハガキで役場総務課へ
△学業を終えて不用になつた机、
白黒テレビ（オールチャンネル）
をお持ちの方、おゆずりください
○始良町から県内の老人ホームへ
入所されている方 六十人
(平松城瀬 鳥中富戸門)

種福祉施設などの事業に配分され
ますが、一部は各市町村の社会福
祉事業に活用するよう還付される
ことになっています。

○同じく児童福祉施設に収容され
ている方 三十三人
○町内の病院で長期療養しておら
れる方 百二十人
○在宅ねたきり老人 九十二人
○在宅全盲者 五十八人
○在宅高齢者（八十五歳以上）
百六人